

2020年 2月 7日

派遣成果報告書

有田市議会議長 様

議員氏名 上野山 善久



有田市議会の議員派遣に関する要綱第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

研修名	質問作成のために押さえておくべき基礎知識
研修期間	2020年 2月 3日（月）
研修場所	1 全国市町村国際文化研修所（大津） 2 市町村職員中央研修所（千葉） 3 地方議員研究会（京都） 4 その他（ ）
研修の成果	別紙のとおり

※ 「研修の成果」は研修内容や所感などを具体的に別葉に作成して添付してください。

※ 研修先から交付される「終了証」等を添付してください。

## 【別紙】

「質問作成のために押さえておくべき基礎知識」を研修参加して

質問事項を定める際に大切なことは、課題を見つけた政策や取り組みについて、その政策や取り組みの元々のゴール「あるべき姿」が何であったかを確認し、そこへのプロセスの中に問題や課題があった場合、有効性（どのような成果や結果がでたのか）効率性（過程の中で無駄がなかったか）に基づいて考えていくのが望ましい。

また、正確なデータ・情報・ナレッジなどを使うことにより、質問の信憑性が増すため十分に調査し有効に利用する。

国の流れを掴むためには「～白書」を見ておくことも重要であるし、正確なデータを集めるには、そのデータが大元のデータであるかが重要であり、インターネットなどですぐに検索できるデータなどには注意が必要である。

質問の目的には次の要素がある、①自分の知らない情報を得る②自分の疑問を解く③相手に気付かせる④相手に決断を迫る⑤相手を応援する。③～⑤が良い質問であるが、そのためには「事前準備」「先を読む力」「相手の答えを想定する」など、時間をかけて準備することが大事である。

議員は当該職員等と対立の立場ではないと考えている、時には叱咤等が必要な場合もあるが、基本的には当該自治体を良くしていくために協力すべきではないのか。

良い質問の定義について、自身の考えと相違がなかったこと、またデータ等の重要性も非常に理解できたこと、全体を通じてよく理解できた研修であり、次回からの質問に活かしていきたいと考えています。